

県は地域経済の活性化の一環として、ベンチャー企業の育成に力を入れている。昨年11月にはじめて開催された「フクオカベンチャーマーケット(FVM)」では、ベンチャー企業と投資家の間で多数の商談がもたれた。県が主導し、民間資金で製作する武田鉄矢主演の映画も今年クランクイン。映画製作も産業振興の一環として行われている。地方分権、産業振興などについての県の取り組みについて、知事にお話を伺った。

## ベンチャー企業育成の一環として映画づくりに着手しました。

Movie production being encouraged as part of efforts to nurture venture capitalists

聞き手 梶本久夫 (本誌編集・発行人)

### 【住民ニーズを的確に把握すること…】

●「地方分権一括法」が成立して、今後ますます地方分権が進むことが期待されます。しかし財源委譲の問題など、課題も多い。知事は地方分権についてどのようにお考えですか。

麻生 日本の近代史は一面では模倣の歴史であったと思います。明治維新後は、時代の先頭を走る欧米に使節団や留学生を派遣することで、日本は近代化の礎を築いてきました。

ところが今は、日本は経済的にも、また少子高齢化が急激に進んでいるという意味でも、時代の先頭を走っています。フロントランナーは先行事例を参考にすることはできないので、新しい試みや実験を自らの判断で行っていかねばなりません。21世紀の方向性を国全体として、どのように決めるのか。知的センターの分散化も、選択肢の1つではないでしょうか。

アメリカには複数の知的センターがありますが、日本は東京中心。東京一極集中は、すでに制度疲労を起こしています。教育、介護、ベンチャー育成、農業のあり方など、それぞれの得意分野をもつ知的センターが全国に分散していたほうが、国全体として豊かな発想で、21世紀のビジョンを打ち立てていくことができるはずだと。

●地方分権の推進には、「財源と権限と人間が必要」という声もありますが。

麻生 中央の人は、地方には人材がいなるといいますが、それは違います。今までは、財源を握る中央が政策を立案して、それを地方が実施するだけでしたが、地方分権が進めば、地方で政策を立案できる領域が増えるので、必然的に人材は育つし、集まるものです。人材については、まったく心配していません。問題なのは、権限と財源を国がどこまで地方に委譲するかです。

### 【ベンチャー企業への投資市場を開設】

●福岡県はベンチャー企業の育成に積極的なようですが。

麻生 昨年11月には、証券会社、ベンチャー・キャピタル、会計事務所などの人に集まってもらい「フクオカベンチャーマーケット(FVM)」を開催しました。

FVMでは、ベンチャー企業と投資家の間で、投資、融資、技術提携、資本提携をはじめ、株式公開へ向けた話し合いがもたれます。そこでは、事業の一部を買ってほしい、技術開発のリスクマネーを出してほしいなどの話が出る。

年2回予定されるビッグ・マーケットには、ベンチャー企業がプレゼンテーションをする場を設けるとともに、自社製品や技術をアピールする展示会も同時に開催します。県としての役割は、ベンチャー企業という新しい血をどんどん地域経済に注入していくことではないでしょうか。

●経済が低迷する今日、元気が出るお話ですね。

麻生 世の中、不景気な話ばかりなので、少し、元気の出ることをしなければ(笑)。

日本ではベンチャー企業が育たないといわれますが、それは違います。ソニーやシャープも創業時はベンチャーです。県内ではICリードフレームの三井ハイテックや住宅地図のゼンリンなどの企業が、国際的な企業として育っています。

日本の銀行は、マーチャント・バンクとしての役割を担ってきましたが、健全化プロセスに入り、状況が一変。将来がわからない企業に、融資をしなくなりました。

となると、否が応でも、アメリカ型の投資市場をつくる必要に迫られる。地域で、ベンチャー企業と投資家が会おうマーケットを創出できるかどうか。それが、地域経済の浮沈に関わっているのではないのでしょうか。



## 福岡県知事 麻生渡氏

Mr. Wataru Asou Governor of Fukuoka Prefecture

あそう わたる ●1939年生まれ。1963年、京都大学法学部卒業。同年、通産省入省。大臣官房企画室長、通商政策局国際経済部長、近畿通産局長、特許庁長官等を歴任。1995年から現職

優れたデザイナーが多数います。デザイン産業を大事に育てていこうというのが、私の考えです。

しかし、ほとんどの中小企業の製品はデザインのスペシャリストの目を経っていないので売れない。売れ筋の、魅力ある製品をつくらうと思えば、良いデザインでなければね。

良いデザインは必ず売れます。産業デザインの重要さを、県内の企業のみならずにもっとピーアールして、付加価値のある製品をつくってもらいたい。今年から県では、良いデザインの重要性をピーアールするために「福岡産業デザイン賞」を設けました。デザインが良ければ売れる、グッドデザインはグッドセールスというのが、県の考え方です。海外でも売れるグッドデザインを福岡から発信していきたい。

### 【環境産業をアジア諸国へ】

●福岡県はアジア政策に積極的ですね。日韓知事会議が有名ですが。

麻生 県政の重要テーマとして、産業振興とともにアジアとの関係強化があります。福岡、佐賀、長崎、山口の4知事と韓国南部の1市3道の4知事で構成される日韓知事会議は、今年で8回目を迎え着実な成果をあげています。その他のアジア諸国とも、経済、貿易、投資、観光を通して、福岡県との結びつきを強めています。

今後、力を入れたいのは深刻な環境問題に悩むアジア諸国への、技術移転や環境産業の輸出を通じた貢献です。北九州市に代表されるように、福岡県内には公害問題を克服してきた歴史と経験があります。空気や水の浄化など環境対策上の高い技術をもった企業も数多くあります。またリサイクル産業も育っています。県としては、全国に先駆けて大牟田市に、環境にやさしい RDF発電所\*の計画を進めています。

また積極的な活動が実を結び、国連人間居住センターを福岡市に誘致することができました。同センターは今後、アジアの人口爆発でできると予想される巨大都市の上下水道、スラムなどの問題などを研究する国連機関です。

このほかにも、アジアから多数の研修生や留学生を受け入れています。日本からアジアへの技術移転のための中核施設として、北九州市にアジア太平洋技術取引センターを創設する計画があります。これが、県の基本的なアジア戦略です。 ㊦

RDF発電\* ごみの中から可燃物を分別し、パレット状に加工したごみ固形燃料(RDF=Residue Derived Fuel)を利用する発電方法。福岡県刈田市の三菱マテリアルのセメント工場では、敷地内にRDF発電施設を建設し、1998年10月より稼働している。

### 【武田鉄矢主演の福岡発映画づくり】

●福岡発の映画づくりがスタートしたと聞きました。映画製作もベンチャー企業育成の一環ですか。

麻生 映画製作はベンチャー育成の目玉です。映画のタイトルは博多弁で「てんでこまい」を意味する「ちんちろまい」。主役は武田鉄矢さんに決定しています。県庁を舞台にしたコメディ映画で、私も役者として出演します。そのほか、福岡出身の芸能人に大勢出演してもらう予定です。セリフは福岡弁で、標準語のスーパー入り。3月から4月にかけて福岡でロケをして、秋には全国の劇場で公開の予定です。

県はマルチメディア・アライアンス福岡(MAF)を核に、マルチメディア・コンテンツ産業の育成に力を入れており、映画製作もその一環として企画されました。

福岡には、映像分野のスペシャリストを養成できる九州芸術工科大学などがあり、映像、コンピュータ・グラフィックス、情報工学系、マルチメディア系の人材を多数輩出しています。

映画製作資金は、県の予算からはいっさい出さずに、民間から調達します。5000~1万円の協力金を頂いた方には、鑑賞券やビデオなどを贈呈。出資金は1口50万円で、利益が出た場合には口数に応じて配当します。

この新しい資金調達の方法により映画を製作し、洋画に押されきみな日本映画を元気づけたいという願いもあります。面白い映画になりそうなので、ぜひ観てください。

### 【グッドデザインはグッドセールス】

●福岡県は今年、「福岡産業デザイン賞」を創設されたそうですね。知事のデザインに対する基本的なお考えをお聞かせください。

麻生 福岡県のデザイン産業の規模は全国第3位。県内には、